

# 山下さん（開陽）文科大臣賞

## 「真の介護」体験発表

鹿児島市の開陽高校福祉科中間年次（2年生）の山下由美子さん（16）が、全国福祉高等学校長会が募集した生徒体験発表で、最高賞の文部科学大臣賞を受賞した。「介護福祉士へのあこがれ」と題し、実習での体験をもとに、心のこもった介護とは何かを発表した。

### 母親目標資格取得へ

山下さんは、介護職に就き、入院した祖母の姿の母の影響を受けて同科に進学した。昨年11月の実習で見たおむつ交換を「機械的」と感じる私に気持ちこそ、利便性や家族の側に立つた（介護者に必要な）視点である」とし「やはり、あこがれてやまない尊い仕事」と締め



介護のあり方を考えた作品で文部科学大臣賞を受賞した山下由美子さん  
—開陽高校

くくった。

全国9ブロックから約200点の応募があった。最終審査は8月6、7日に鹿児島市で開かれた全国福祉高等学校長会総会・研究協議会であり、生徒自ら舞台上で発表した。

「内容が濃い作品ばかりで、まさか選ばれるとは思わなかった。緊張したが、言いたいことが詰まった後半は、十分思いを伝えられた」と山下さん。部活動での演劇の経験が生きたという。

福祉科主任の瀬口知子教諭（47）は「自分の体験を社会的な視点にまで広げた点が評価さ

れたのでは」と話す。高校生活の目標は、クラス全員で介護福祉士の資格を取ることに、「勉強や部活のほかに、

ボランティアなどを通して視野を広げたい」と笑顔を見せた。

（小手川美子）